若年層の献血の推進

中村　欣一郎 議員
（自民みらい／鳥羽市選出）

問 三重県では、10歳代、20歳代の献血率が47都道府県中で最下位となっています。なぜ、本県は若年層の献血率がこれほどまでに低いのか、その理由をお聞かせください。

また、若年層の献血率が低いのは、高校での取り組みがあまりされていないからと考えますが、最下位脱出に向けた取り組みについてお聞かせください。

答 献血バスによる高校での献血が実施されなくなり、若年層の献血意識を高める取り組みが十分でないことなどが、献血率の低下を招いていると考えています。

県では、昨年6月に献血を推進する人たちが一堂に会する組織を設置しました。今後も県立学校で献血セミナーを実施するなど、若年層の献血の推進に積極的に取り組んでいきます。

三重県学生献血推進連盟「みえっち」

その他の質問事項

○漂流漂着物処理　ほか

スポーツ推進のための条例制定を

舘　直人 議員
（新政みえ／三重郡選出）

問 これからのスポーツの推進は、スポーツをする環境を整えるだけでなく、スポーツを活用して地域特性を生かした地域の活性化を図るなど、新たなステージでの取り組みが重要です。そのため、スポーツ推進のための条例を制定し、次期スポーツ推進計画を条例に基づく計画と位置付けることで、新たなスポーツ推進を図ることができると考えますが、知事の考えをお聞かせください。

地域スポーツ活動の様子

答 スポーツの持つ多面的な効果が持続して発揮されるためには、県民力を結集することが大切です。そのための共有すべき基本理念、関係者の役割、具体的な仕組みなどを規定する条例の制定は一つの重要な選択肢と考えており、今後、スポーツ推進の条例、計画などのあり方について検討を進めていきます。

その他の質問事項

○もうかる農業の土台づくり　ほか

燃油価格高騰対策と県内漁業支援

西場　信行 議員
（自民みらい／多気郡選出）

問 最近の円安による燃油価格高騰により県内漁業は大変厳しい状況にあります。漁業者に対する国の支援策のほか、国の対策と連動する県の施策についてお伺いします。

また、漁業振興の底上げには、県内水産物の地産地消など消費拡大が大変重要と考えます。消費拡大に対する県の取り組みをお聞かせください。

答 燃油価格高騰時に補てん金を交付する国の制度への加入促進に努めるほか、燃油消費量を減らすため、無利子融資制度による省燃油型機器の導入促進や近場の漁場整備に取り組みます。

また、学校給食用の商品開発や、⑤「お魚の日」を推進している関係団体などと連携した水産物の魅力発信などに引き続き取り組みます。

人工漁礁による近場の漁場づくり

その他の質問事項

○木質バイオマス安定供給体制づくりと「木の駅プロジェクト」の取り組み　ほか

再生可能エネルギーによる持続可能な地域づくり

中西　勇 議員
（みんなの党／松阪市選出）

問 地球温暖化防止や資源循環型社会の形成のために地域で取り組んでいる⑥再生可能エネルギーの事業に、県もしっかりと関わり、三重県を「緑豊かな環境先進県」としていただきたいと考えますが、いかがですか。

答 今年度、市町に対象を拡大した「新エネルギーまちづくり促進事業補助金」を設け、市町の取り組みを支援していきます。また、市町との勉強会を設けるなど、連携した取り組みを進めます。

風しんワクチン接種に公費助成を

中川　康洋 議員
（公明党／四日市市選出）

問 風しんは、昨年秋ごろから流行し始め、特に妊娠初期の女性が感染すると、胎児が⑦先天性風しん症候群にかかる恐れがあります。風しんワクチンの公費助成の実施主体は市町ですが、県としての助成に対する考えをお聞かせください。

答 公費助成を行う市町に対する補助制度の創設については、総じて市町の理解も得られたことから、県としては市町とともに、今年度に限り緊急に公費の補助を行っていきたいと考えています。

文中の傍線部分については、5ページに用語解説を掲載しております。